

参考資料 F

調査協力者の紹介

本編「あとがき」にも記載したように、本調査を実施するに当たって、村内の多くの方々に協力していただいた。以下で、調査に協力して下さった方のうち、写真や氏名の公表を許諾して下さった方々を紹介する。なお、「参考資料 D」で詳しく述べたように、「住民意識調査」や同調査のプリテストは匿名による調査で個人データがないため、ここで協力者を紹介することはできない。ご了解願いたい。



「聞き取り調査」に協力して下さった方々。調査日時順に左から、鈴木さちよ氏（株式会社鈴木ハーブ研究所代表取締役）、安武明氏（有限会社ケンインターナショナル代表取締役、東海村商工会副会長、東海村観光協会副会長）、野沢恵子氏（東海村立東海中学校校長）、大内智弘氏（東海村社会福祉協議会事務局企画総務係）。それぞれの仕事で忙しい中、快く調査に協力して下さった。



「SNS モニター調査」に協力して下さった村広報広聴課のご担当者と茨城大学の学生たち。左の写真は 10 月 6 日（木）に、右の写真は 10 月 13 日（火）に実施した同調査グループインタビュー参加者。村公式 SNS をどうすればより良くなるか、どうすれば村広報広聴活動に若者を巻き込めるか等について、熱心に議論して下さった。



「実態調査」に協力して下さった方々。調査日時順に左から、平根忠義氏（村長公室まちづくり推進課商工観光・企業立地担当課長補佐）、伊藤広顕氏（教育委員会学校教育課課長）、山路拓氏（福祉部子育て支援課保育所・幼稚園担当係長）、照沼隆行氏（福祉部介護福祉課障がい支援担当課長補佐）、渡邊未央氏（同左係長）。直接のご担当ではない分野の課題や改善策等についても、丁寧に答えて下さった。



調査全般に協力して下さった、村長公室広報広聴課の方々。左の写真は、1列目左から根本雅隆氏（同課情報発信担当主事）、石川秀樹氏（同課課長補佐）、鈴木春香氏（同課情報発信担当主幹）。2列目左から萩谷浩康氏（村長公室長）、秋山明子氏（同課秘書広聴担当係長）、海野健氏（同課課長）、古川淳一氏（同課情報発信担当係長）。右の写真は、左手前：筆者、左奥：石川氏、右奥：根本氏、右手前：三浦充宏氏（平成27年3月まで同課前身の村長公室まちづくり推進課情報発信担当係長）。度重なる長時間にわたる会議、「住民意識調査」の仮説構築、調査票チェック、宛名ラベル作成、プリテスト、「実態調査」のセッティング等々、とにかくお世話になった。

この他にも、東海村心身障がい児者親の会の皆さま、田川祐子氏（東海村立村松宿こども園長）、清水いね子氏（同子育て支援担当）、佐藤愛子氏（東海村社会福祉協議会障害者センター係長）、上野陽子氏（東海村立百塚保育所長）、石川久男氏（東海村商工会事務局長）（以上、調査日時順）他たくさんの方々に、調査に協力していただいた。

調査に協力して下さった皆さま、本当にどうも有難うございました。

東海村情報媒体等利用状況調査報告書

発行年月：平成 27（2015）年 12 月

著者：後藤玲子（茨城大学人文学部教授）

住所：茨城県水戸市文京 2-1-1

TEL・FAX：029-228-8164【直通】

電子メール：reiko.gotoh.az@vc.ibaraki.ac.jp

発行者：東海村（村長公室広報広聴課）

住所：茨城県東海村東海 3-7-1

電話：029-282-1711【代表】内線 1304

FAX：029-287-0317

電子メール：kouhou@vill.tokai.ibaraki.jp

